

熊本・北島北遺跡
きたじまきた

- 1 所在地 熊本市釜尾町地内
- 2 調査期間 二〇〇〇年(平12) 八月
- 3 発掘機関 熊本県教育庁文化課
- 4 調査担当者 高谷和生
- 5 遺跡の種類 遺物散布地
- 6 遺跡の年代 古代～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(玉名・熊本)

遺跡は、熊本市の北西部、金峰山の東麓、阿蘇―四火碎流の堆積によって形成されたと考えられる台地に位置している。またこの台

地の東側を井芹川が流れており、田園地帯を形成している。今回報告する木簡は、遺跡の東部、井芹川右岸の水田から発見された。

本木簡は九州新幹線建設工事に伴う埋蔵文化財試掘調査により発見されているが、本調査ではないため、

出土した層位及び正確な出土位置など詳細は不明である。共伴資料の土師器から、古代から中世にかけての木簡と推測される。

8 木簡の积文・内容

(1) ・「 〇六〇〇 」

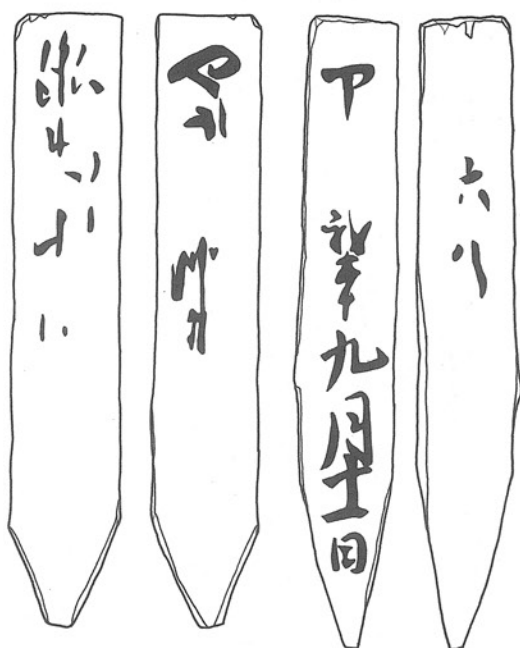
・「 〇〇〇〇〇〇九月十一日 」

(2) ・「 〇〇〇〇〇〇 」

・「 〇月〇〇日 」

156×22×6 051

162×26×5 051



(2)

(1)

(1)は板目材で、上端は平坦に切断されている。日付は明瞭に残っているが、その他の文字ははっきりしない。日付の上は「貳年」の可能性がある。形状から荷札木簡と考えられる。表面の「六」は数量を示すものか。

(2)は柾目材で、上端は平坦に切断されている。形状から荷札木簡と考えられる。

(坂口圭太郎)



(赤外線デジタル写真)

文化財写真に携わる人の必携マニュアル

『埋文写真研究』一五号

埋蔵文化財写真技術研究会編

巻頭言

白黒フィルムの特長曲線を理解する

ガラス乾板の保存

写真以前の映像メディアの歴史を見る

デジタル製版での印刷品質

スタジオ用ストロボの知識

和田 晴吾

井本 昭

川瀬 敏雄

金井 杜男

宮内 康弘

玉内 公一

他

在庫状況のお知らせ

頒価 一〜五号 品切れ 六〜八号 三五〇〇円

九号 三〇〇〇円 一〇〜一五号 三五〇〇円

送料 一冊〜四冊まで 五〇〇円

五冊〜一〇冊まで 一〇〇〇円 一一冊以上 無料

ご注文は、当研究会まで直接お申し込みください。

ご送金は、郵便振替でお願い致します。

宛先 〒六三〇一八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所気付 埋蔵文化財写真技術研究会

電話 〇七四二一三〇一六八三八

郵便振替 口座番号 〇一〇五〇一九九九三〇

埋蔵文化財写真技術研究会宛